

平成13年度 病害虫発生予察 特殊報 第2号

病害虫名： トマトハモグリバエ

Liriomyza sativae BLANCHARD

対象作物： キュウリ

1. 特殊報の内容

都下においてトマトハモグリバエの発生を初めて確認した。

2. 発生経過

(1) 2001年10月19日、定期巡回調査中に西多摩地域のキュウリ栽培施設（ガラス温室）内でハモグリバエ類の発生が見られた。持ち帰って、雄の交尾器を観察したところ既知の種と異なる標徴が見られたので、横浜植物防疫所調査研究部に同定依頼したところ標記と確認された。

(2) 発生を確認した施設のキュウリ（品種：アルファー節成）は現地で播種・育苗し、8月下旬に定植されたものである。11月中旬までの発生は幼虫の食害痕からみて、キュウリの生育に影響がない程度の少発生であった。

(3) 本種は最近になって日本に侵入した中南米原産の害虫である。1999年4月に沖縄県で最初に見つかり、同8月には山口県および京都府でも確認された。その後、九州および関西圏で生息確認が相次ぎ、2000年末までに滋賀県以西では概ね分布している状況となった。関東においては2001年6月に神奈川県で生息が確認され、10月には山梨県でも確認された。関東地方での生息確認は東京都で3例目となった。

3. 形態

(1) 成虫の体長は約1.3～2.3mm、翅長は約1.25mm()～1.7mm()で、大きさはマメハモグリバエ、ナスハモグリバエとほぼ等しい。

(2) 本種の全体的な体色はマメハモグリバエやナスハモグリバエと酷似している。頭部の大部分が黄色、中胸背板は光沢のある黒色、脚は黄色である。本種の外頭頂剛毛の着生部は黒色、内頭頂剛毛の着生部は黒色部と黄色部の境界域にある。マメハモグリバエやナスハモグリバエでは頭部外頭頂剛毛および内頭頂剛毛の着生部が黄色である点で本種と異なる。しかし、体色には個体変異があるので、正確な同定には雄交尾器の観察が必要である。

(3) 幼虫は淡黄色のウジ虫状で3齢幼虫の体長は約3mm、蛹は黄褐色の俵型で約1.3～2.3mmである。

4. 生態

(1) 雌成虫が産卵管で葉に開けた穴の内側に卵を産みつける。葉肉内で孵化した幼虫が葉内を食害潜孔するため、不規則な線状潜孔痕を形成する。老熟幼虫は葉から脱出し土中で蛹化する。幼虫による

葉への潜孔跡や蛹の脱出方法などでマメハモグリバエと区別することは困難である。

- (2) 1世代に要する期間は20で約27日, 25で約18日, 30で約14日で, マメハモグリバエに比べてやや長い。発育零点は9.6とされている。
- (3) マメハモグリバエと同様に施設以外では越冬できないと考えられる。また, 京都府等では既にマメハモグリバエとの混在が見られている。

5. 寄主植物

- (1) マメハモグリバエと同様, きわめて多くの植物に寄生する(下表)。

国内で寄生が確認された主な植物

ウリ科	キュウリ, メロン, カボチャ, スイカ, シロウリ, マクワウリ, ヘチマ
ナス科	トマト, ナス, ピーマン, ペチュニア, テリミノイヌホオズキ
マメ科	インゲン, ソラマメ, アズキ, ダイズ, ササゲ
キク科	マリーゴールド, ゴボウ, シュンギク
アブラナ科	ハクサイ, キャベツ, ダイコン, カブ, コマツナ, ブロッコリー
アオイ科	オクラ

- (2) マメハモグリバエやナスハモグリバエではそれほど問題とならなかった, ウリ科作物で多く発生する傾向があると言われている。

6. 被害

- (1) キュウリやトマトでは上位葉まで潜孔が認められ, 著しい寄生を受けると葉が白化する場合がある。
- (2) 幼虫による葉への潜孔跡や蛹の脱出方法などマメハモグリバエと区別できない。

7. 防除対策および注意

- (1) 苗を他地域から導入する場合はエカキ状の食害痕に十分注意し, 寄生された苗を購入しない。
- (2) 雑草にも寄主となる植物があるので, ほ場周辺の除草に努める。
- (3) 摘葉や収穫後の残渣が本虫の発生源となるので, 放置せず土中に埋めるなどして処分する。
- (4) 夏期の施設栽培では収穫終了後, 蒸し込み処理を行うことも有効である。また, 施設の開口部に寒冷紗等のネット(目合い1mm以下)を張り, 成虫の侵入を防ぐ。
- (5) マメハモグリバエと同様に薬剤抵抗性を発達させていると言われているが, 新害虫のため現在では本種に登録のある薬剤はない。著しい発生が見られるなど, 不明の点がある場合には病害虫防除所または地域の農業改良普及センターに連絡する。

東京都病害虫防除所 テレフォンサービス 042-525-8407

ホームページアドレス: <http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

e-mail: ktky0301@sp.jppn.ne.jp